

東洋大学ライフデザイン学部 健康スポーツ学科ニュースレター第4号 2013年4月26日発行

「新入生歓迎行事」が開催されました

4月13日（土）に、朝霞キャンパスで、健康スポーツ学科の新入生歓迎行事が賑やかに開催されました。

その日の午後、新入生たちは各ゼミに分かれ、担当教員から基礎演習の講義を受けることから始まります。その後は、体育館で上級生たちが取り仕切る、ゼミ対抗でのレクリエーション大会です。借り物競争、縄跳び、綱引きと、短い時間の中で、新入生のために考案された盛りだくさんのゲームで競い合います。初めて知り合ったばかりのゼミ仲間ですが、このレクリエーションを通じて、一緒に出場選手を決めたり、作戦を相談したりしながら、少しずつ交友を深めていくことになるのです。やがて、レクリエーションが終わり、食堂での懇親会に参加する頃には、すっかり打ち解けた雰囲気の中で、あらためて、ざっくばらんな本音の自己紹介が繰り返されます。

入学して最初の学科行事は、こうして息つく暇もなく慌ただしく回って行きますが、実は、誰よりも忙しく駆け回るのが、運営スタッフの上級生たちです。終わってみれば、わずか数時間の出来事に過ぎませんが、その数時間のために、スタッフのメンバーは半年前から準備に取り掛かるのです。ボランティアで集まった約50名が、運営班、レクリエーション班、食事班等に分かれ、ゲームの内容や懇親会のメニューを考え、入念なりハーサルを繰り返します。当日も、自分たちで揃えたTシャツを張り切って着込むと、入学して間もない新入生たちをまとめ、次から次へと降りかかるハプニングに悪戦苦闘しながらも、なんとかスケジュールをこなしていきます。



数年前までは、教員が先頭に立って企画、運営していたのですが、今ではなるべく学生の柔らかな発想と、旺盛な行動力に任せるようにしています。幸い、ここ数年、学生たちもその期待に十分応えてくれるようになりました。限られた時間の中で多くのプログラムを運営するため、いつも最後まで若干の不安は拭えませんが、上級生の考えたゲームに夢中になって走っている新入生を見ると、その笑顔が来年の歓迎行事の成功を保証してくれるようで、安堵と共にまた新たな期待も膨らむのです。（木内 明）